

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	企画展開催事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	08	01	11
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	来館者	意図	多くの市民に流山の歴史や文化財について知ってもらう。
事業内容	企画展関連の調査・研究、資料収集、報告書刊行、企画展の開催、講演会の開催。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和53年6月開館以来、企画展示を年2回開催してきた。生涯学習の成熟、学校教育における総合的な学習の時間の新設などに対応した。平成13年以降第2展示室は、企画展示を行うとともに、市民ギャラリーとして貸し出している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	企画展開催数	3	4	2	
②	企画展観覧者数	10,981	19,277	11,415	人	→→	
③	関連講座・講演会開催数	9	6	6	回	???	
④	関連講座・講演会受講者	303	249	219	人	???	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	「ちょっと昔の暮らし」は、小学校3年生の学習課題に合わせたものであり、学校教育との連携を図っている。また、高齢者にとっても、昔懐かしい生活道具に触れ合うことができ好評を得ている。「三輪野山遺跡群」は区画整理事業で行った発掘調査の成果についての展示・講演会を行った。展示では昔の生活道具を目近で見れるような工夫をし、好評を得た。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	7,472,614	13,897,217	12,425,624				
事業費(b)(円)	2,951,614	5,820,417	4,947,184				
うち一般財源	2,951,614	5,820,417	4,947,184				
職員給与費(c)(円)	4,521,000	8,076,800	7,478,440				
人役・職員(人)	0.60	1.10	0.90				
人役・再任用(人)		0.20					
人役・臨職(人)	0.30		0.64				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	企画展関連講座参加人数の増加。	③取組の課題	市制50周年、開館40周年を控えた企画展の内容の検討。
②今年度(H27)に実施した取組	企画展関連講座の集客を見越した講師選定。	④今後の改善計画	長期的な企画展の計画策定。